

この「人」に聞く

尾道本通り商店街連合会

会長

檀上 貴晴氏



尾道の中心部から経済活性化へ
5商店街の力を結束し、にぎわい支える

港都として栄えた尾道の歩みとともに、まちのにぎわいを支えてきた尾道本通り商店街。1946年の土堂中央商店街結成を起点に、現在は美美子通り、土堂中商店街、本町センター街、絵のまち通り、尾道通りの5商店街で構成される。全長約1・2kmの通りには約210件が軒を連ね、創業100年を超える老舗も残る。1990年を超える会員を束ね、行政との窓口を担う尾道本通り商店街連合会（以下連合会）。檀上貴晴会長に、商店街の役割と尾道の経済活性化に向けた思いを聞いた。

連合会の役割

連合会の役割は、5つの商店街を取りまとめ、全体事業の企画・実行、行政や関係機関との連携を担うことです。5つの商店街は、それぞれ成り立ちも雰囲気も違います。長い歴史の中で、それぞれの商店街が自分たちの地域を守ってきました。そうした各商店街を一つの「尾道本通り商店街」として捉え、全体で考えていくのが連合会の役割だと思っています。

組織としては、会長が1名で、副会長は5つの商店街の理事長が務めます。そのほか、専務理事、事務局、監事、理事で構成されています。1990年を超える会員がいる団体ですから、役員がそれぞれの立場で意見を持ち寄り、商店街全体に関わるこ

商店街を起点に

商店街の活性化は、商店街だけで完結するものではなく、周辺エリアを巻き込みながら、「線」ではなく「面」で考えていくことが大事だと思っています。そこで昨年度は、本通りを起点に尾道のまち歩きを楽しんでもらうため、商店街周辺の4カ所に地図看板を設置しました。

尾道本通り商店街は約1・2kmある長い通りですが、一本路地に入ると、また違う尾道があります。山手が上がれば坂道やお寺、尾道水道を望む景色がありますし、南側には海や港町としての雰囲気があります。

看板には、インスタグラムなどで見かける尾道らしい風景が、実際にどこから見えるのかを分かりやすく掲載しました。写真だけを見て「きれいだな」で終わるのではなく、「この景色はここから見えるんだ」と知ることが、実際に歩いてみようと一歩一歩近づけることを目指しました。

この看板が、そつしたまち歩きへの第一歩となり、本通りを中心とした回遊を促しながら、周辺エリアを含めたまちなか全体のにぎわいへと発展してい

にぎわい創出の工夫

今年度は、冬の閑散期のにぎわい創出について、現在計画を進めています。冬場はどつしても人の動きが少なくなりますが、観光客の数も落ち着きまず、日が暮れるのも早い。そうした時期に、商店街へ出かけるきっかけをつくり、まちなかにぎわいにつなげたいと考えています。

も一つは、土曜夜店の見直しです。土曜夜店は6月12日から始まりました。7月18日（土）まで開催します。しかし、土曜夜店をこれから10年、20年と続けていくためには、運営の形を見直す必要があります。材料費や運営に関わる経費も上がり、人手の確保も難しく、ボランティアに頼った形では、これまで通り続けていくことが難しくなっていました。そこで今年から、商店街が開催するゲームの料金を一部値上げさせていただきました。値上げによる負担感が出ないよう、尾道市内の全



檀上 貴晴 (だんじょう たかはる)

有限会社檀上カバン店に入社後、平成23年、同社代表取締役就任。時代の変化に対応しながら、実店舗での接客に加えEC事業にも積極的に取り組み、尾道から全国へ魅力を発信している。令和元年、尾道本通り商店街連合会専務理事に就任し、4年間にわたり商店街の運営や各種事業の推進に尽力。令和7年、同連合会会長に就任。尾道が誇る歴史ある街並みや商店街文化を次世代へ継承するとともに、新たな挑戦や若い世代の力を取り入れながら、地域の賑わい創出と持続可能な商店街づくりに取り組んでいる。「尾道の活性化は私たち自身の手で」という想いのもと、行政や関係機関、地域事業者と連携し、尾道の未来を切り拓いていくことを目指している。

尾道本通り商店街連合会

住所:尾道市土堂2-10-3尾道商工会議所ビル3階
E-mail:info@onomichi-hondoori.jp
創設:1953年(協)尾道模範店会結成(52店)
会員数:191(2026年3月末)



尾道本通り商店街連合会のホームページはこちら

これからの連合会

今までホームページの刷新や経理事務の尾道商工会議所への委託など、組織のスリム化を進めました。直近では「ほこみち制度」という歩行者の通行空間を確保しつつ、道路空間の賑わいを創出する国土交通省の制度を利用し、行政としっかり連携をとって賑わいのある道路空間創出に積極的に取り組めます。また、商店街は日々の買い物や観光だけでなく、尾道を代表する祭りとも深く関わっています。灯りまつりやバッチャー祭など、多くの催しで商店街が舞台になり、人が集まる場所になります。そつした祭りも尾道を楽しんでもらう大切な機会ですから、連合会として支援していきたいと思っています。

尾道本通り商店街は、尾道市の中心部にある商店街です。商店街の活動を通じて、尾道市内の経済活性化に貢献できる団体でありたいと思っています。商店街がにぎわえば、人の流れが生まれ、店に立ち寄るきっかけも増えていきます。中心部から尾道全体を元気にしていく。その意識を持って、これからも活動していきたいです。